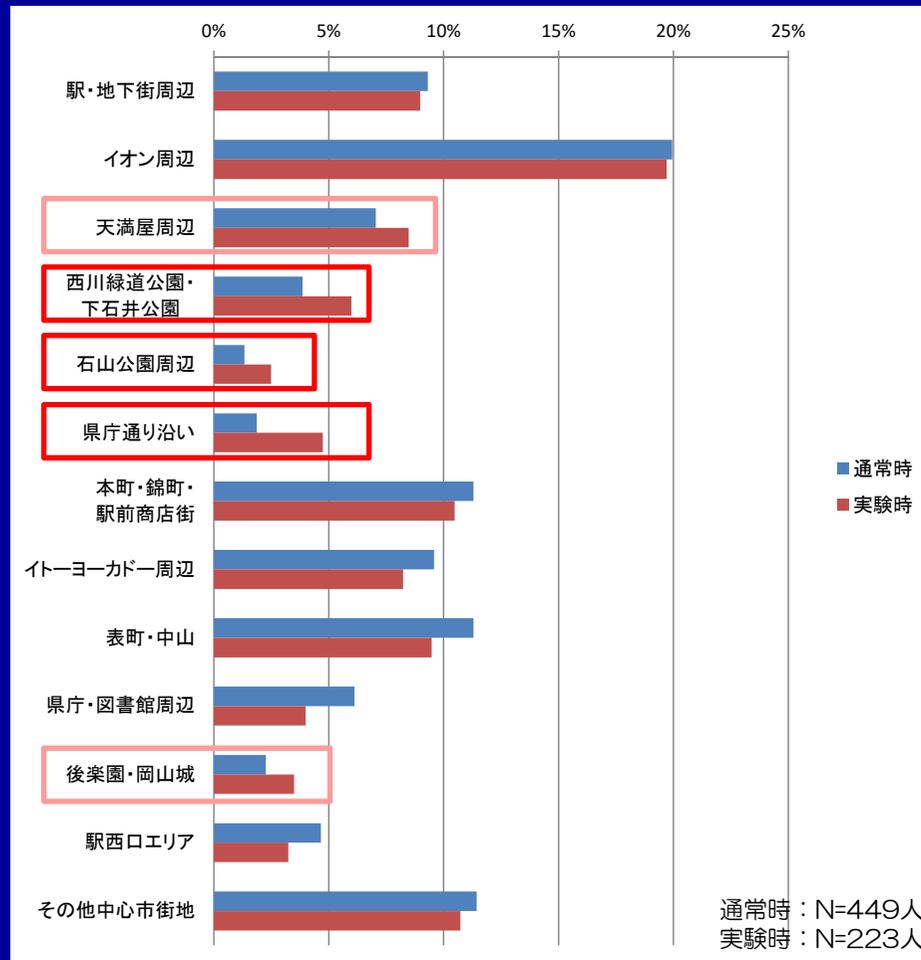


5. 調査結果

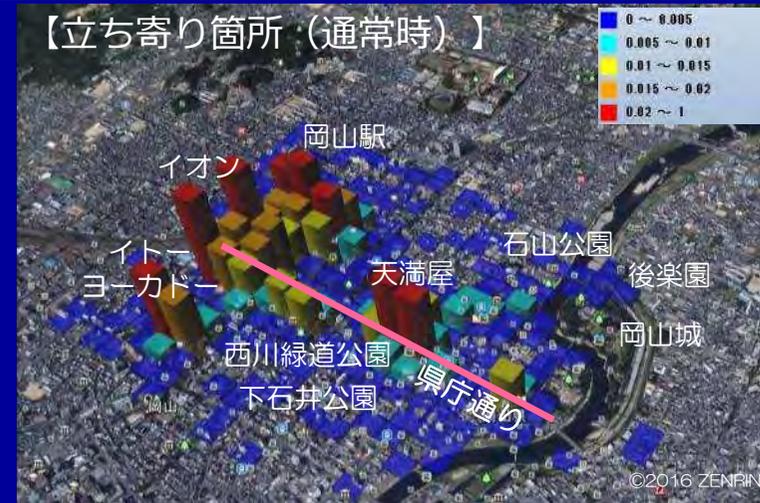
■ 具体的な立ち寄り箇所

- 社会実験時は、イベント等が実施されていた西川緑道公園、下石井公園、石山公園、県庁通りへの来訪割合が増加
- 併せて、その周辺部の天満屋周辺、後楽園・岡山城への来訪割合が増加

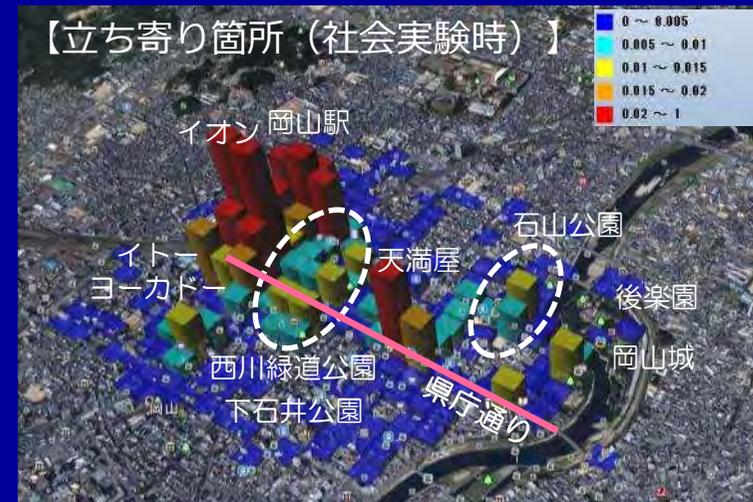
【立ち寄り箇所別のトリップ数の割合】



【立ち寄り箇所（通常時）】



【立ち寄り箇所（社会実験時）】



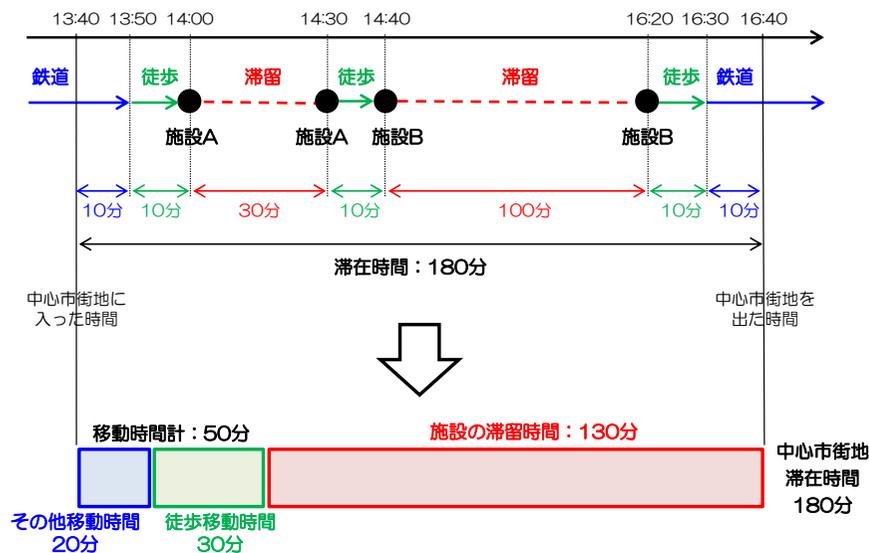
※100mメッシュ単位で集計した着トリップ数を全着トリップ数で割って基準化した上で図化

5. 調査結果

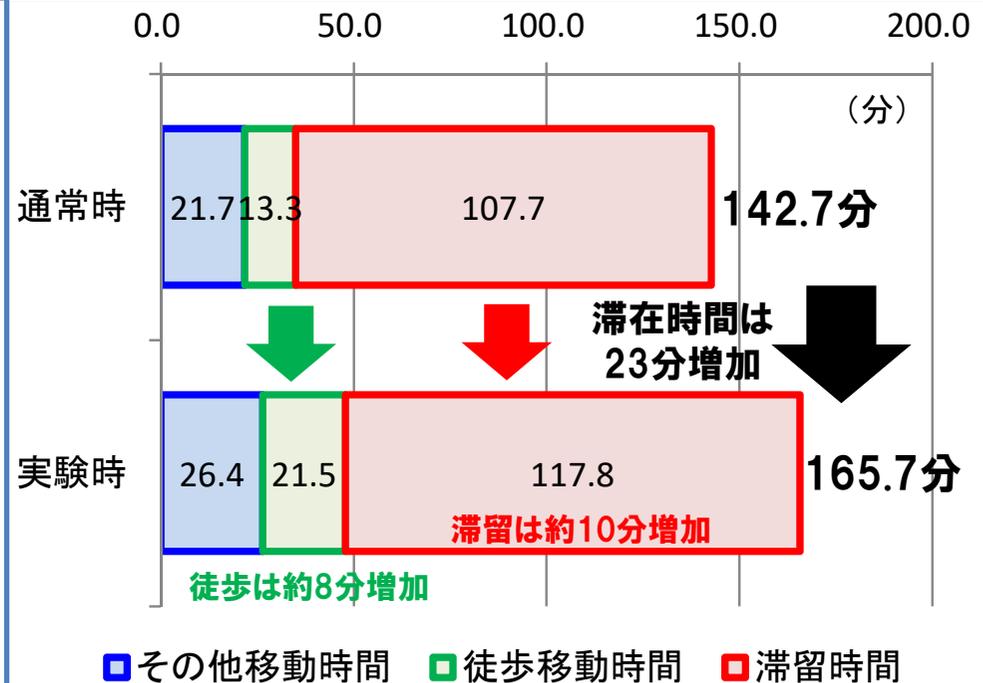
■ 滞在時間

- 中心市街地来訪者の平均滞在時間は142.7分から165.7分へ**23分増加**
- 徒歩の移動時間が**約8分増加**
- 施設等の滞留時間が**約10分増加**

【滞在時間の内訳の集計イメージ】



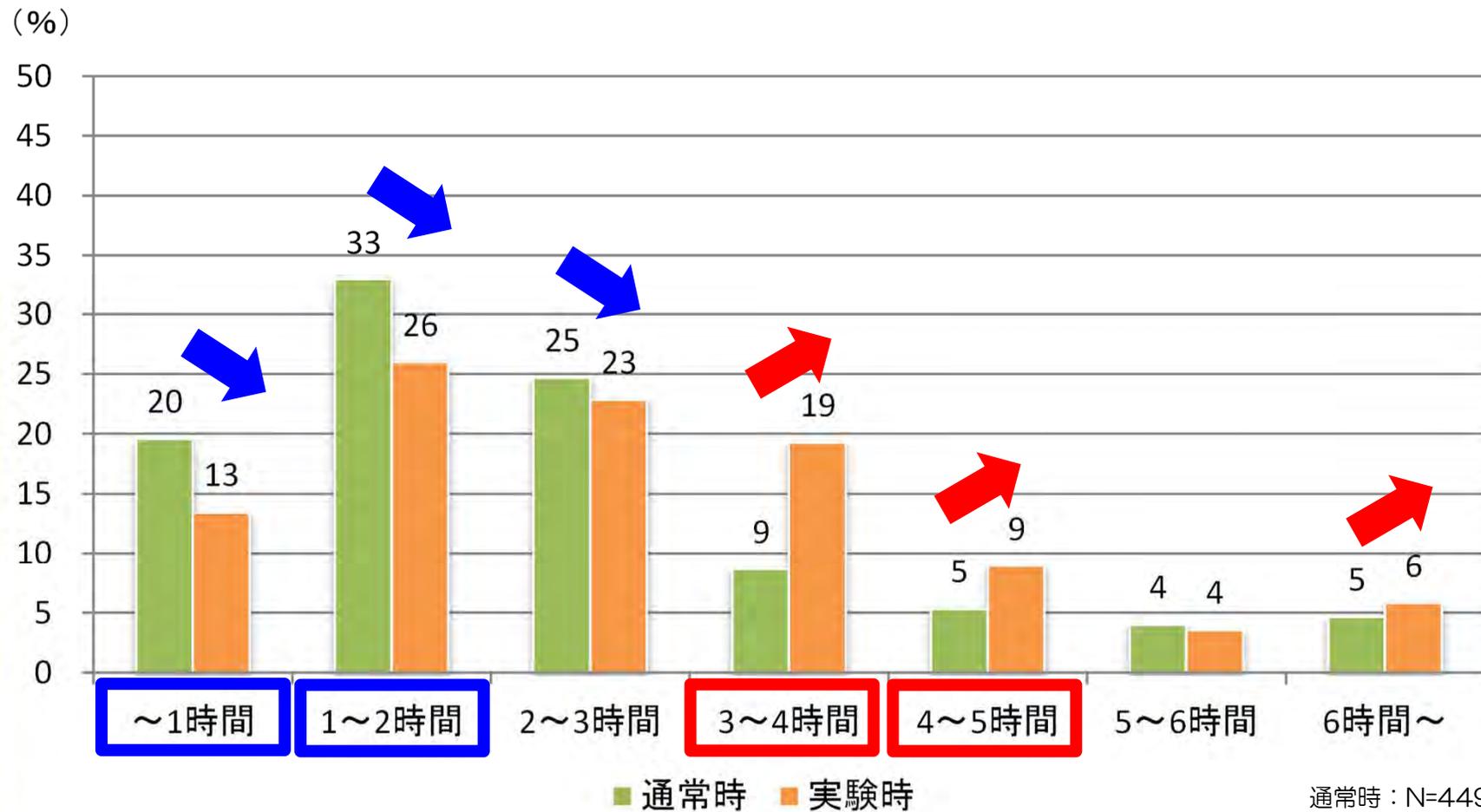
【滞在時間及びその内訳の変化】



5. 調査結果

■ 滞在時間(分布)

- 社会実験時には、2時間未満の滞在の割合が減少
- 一方で、**3～5時間の滞在の割合が増加**



通常時：N=449人
実験時：N=223人

5. 調査結果

■ 滞在時間（性別・年齢階層別）

- 女性の滞在時間が長い傾向、社会実験による伸びは男性の方が大
- 社会実験により、特に**50歳代以上の滞在時間が増加**

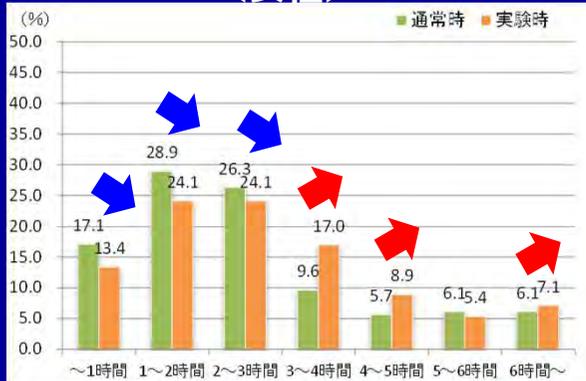
【性別滞在時間】

<男性>



平均滞在時間
128分 → 159分
通常時：N=217人
実験時：N=109人

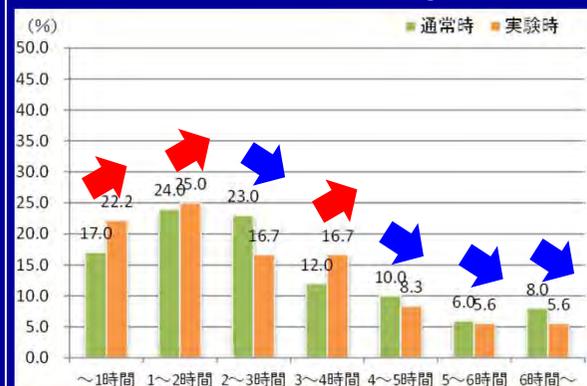
<女性>



平均滞在時間
158分 → 173分
通常時：N=228人
実験時：N=112人

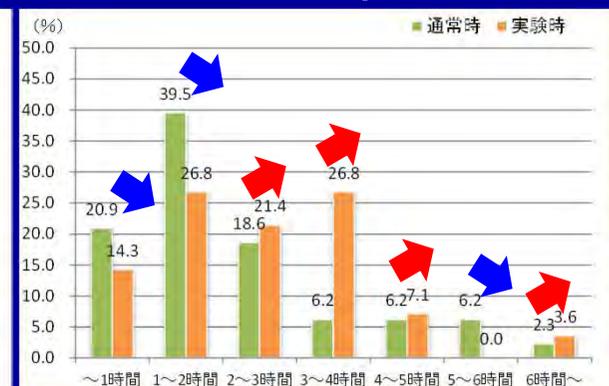
【年齢階層別の滞在時間】

<10歳～20歳代>



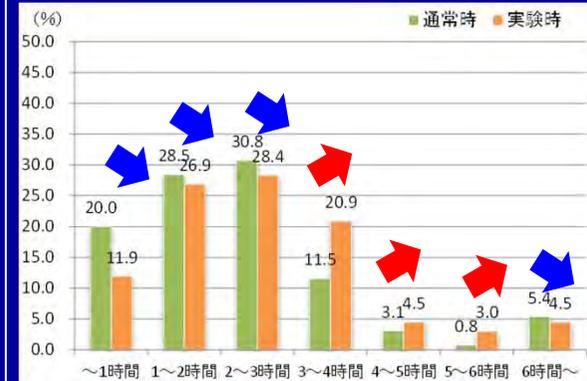
平均滞在時間
169分 → 156分
通常時：N=100人
実験時：N= 41人

<30歳代>



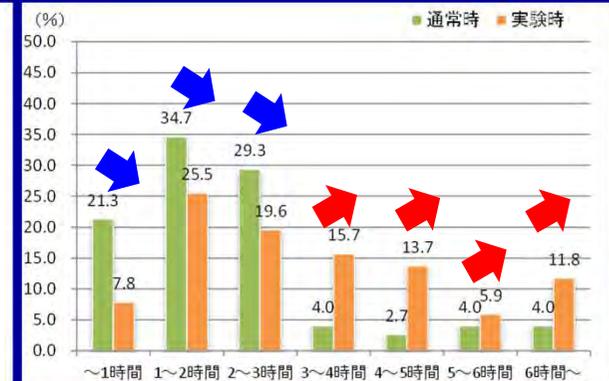
平均滞在時間
133分 → 153分
通常時：N=129人
実験時：N= 56人

<40歳代>



平均滞在時間
142分 → 154分
通常時：N=130人
実験時：N= 67人

<50歳代以上>



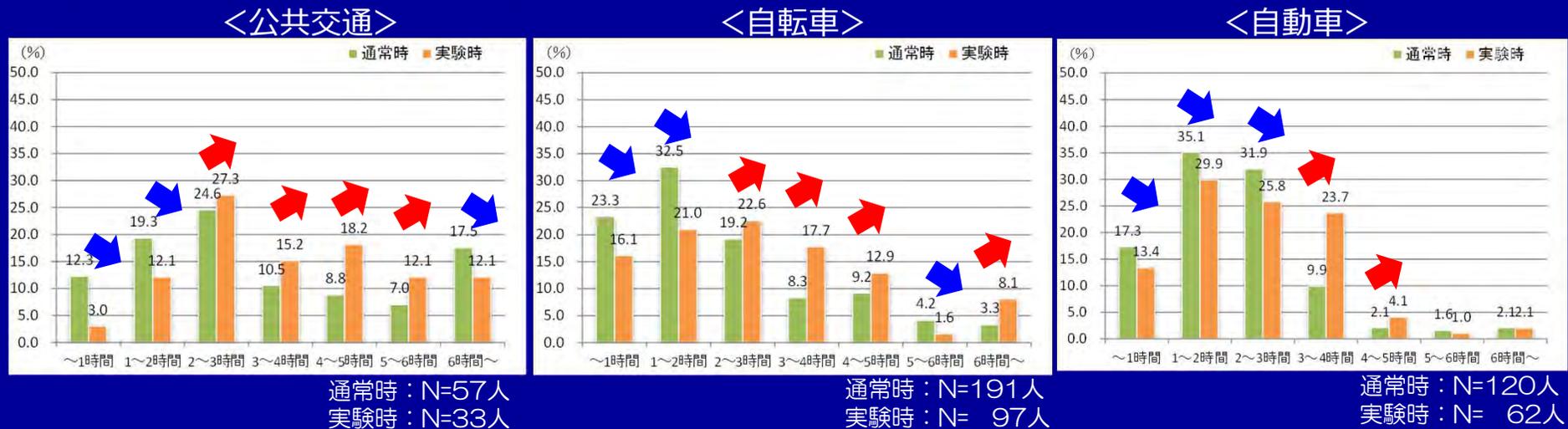
平均滞在時間
129分 → 198分
通常時：N=75人
実験時：N=51人

5. 調査結果

■ 滞在時間(来訪交通手段別)

- **公共交通来訪者は、平均滞在時間が長い傾向**
- 社会実験により、いずれの交通手段でも滞在時間が増加
- 特に自転車来訪者の滞在時間が増加

【来訪交通手段別の滞在時間】



【来訪交通手段別の平均滞在時間】

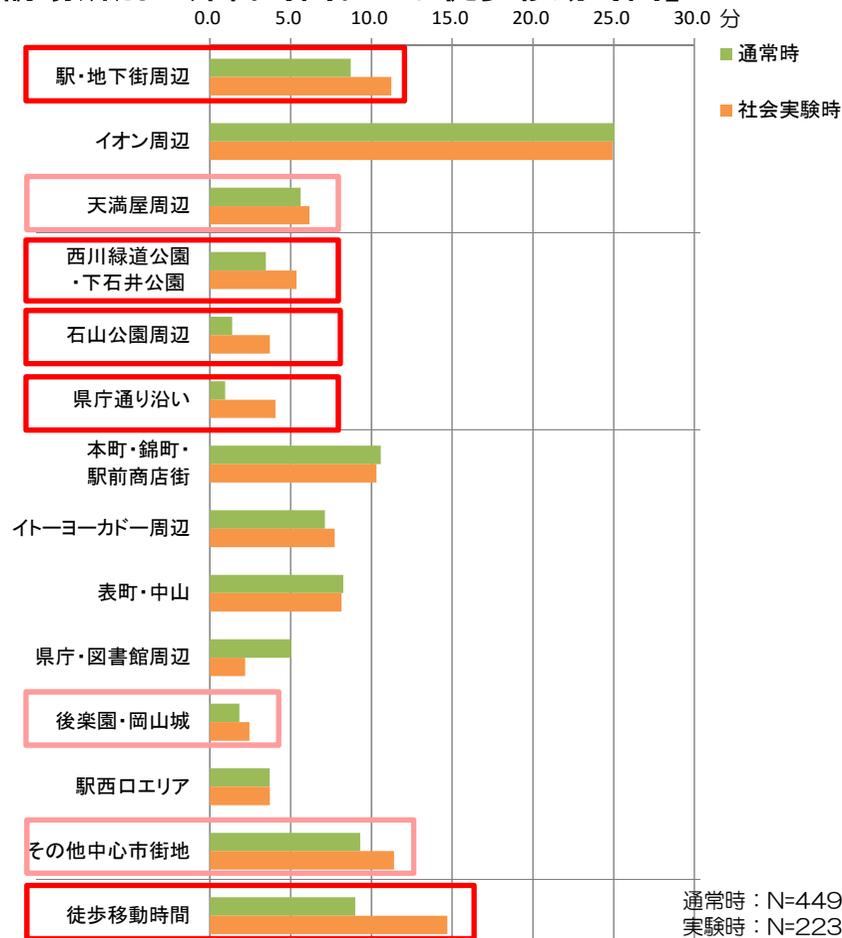
	通常時	実験時	増減	サンプル数(人)	
	(分)	(分)		通常時	実験時
公共交通	214	233	+19	57	33
自転車	138	171	+33	191	97
自動車	129	141	+12	120	62
合計	143	166	+23	449	223

5. 調査結果

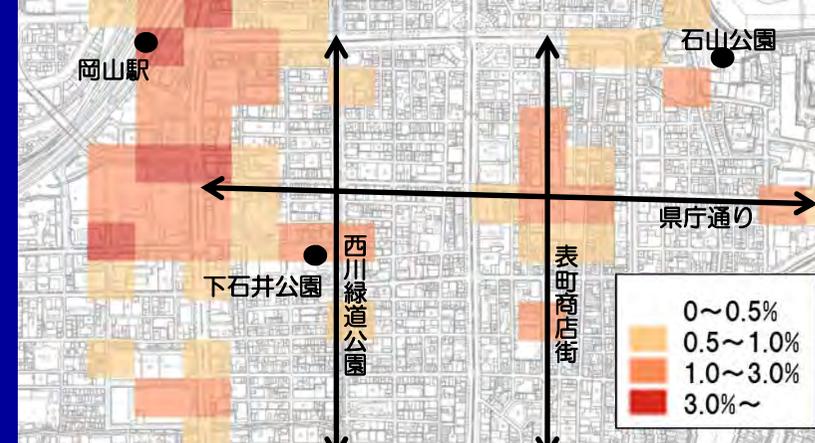
■ 立ち寄り箇所別の滞留時間の分布

- 社会実験により、滞留時間が伸びている箇所は、駅・地下街周辺、イベント等が実施されていた西川緑道公園、下石井公園、石山公園、県庁通り沿い
- 併せて、周辺の天満屋周辺、後楽園・岡山城などでも滞留時間が増加
- 徒歩の移動時間も、社会実験により増加

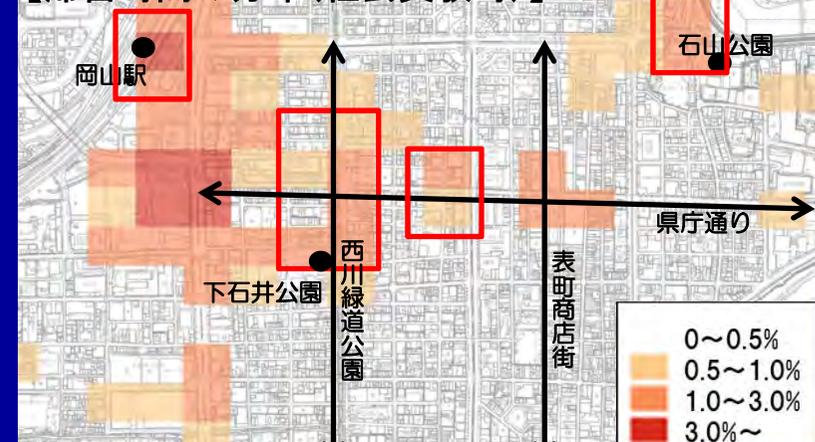
【来訪場所別の滞留時間および徒歩移動時間】



【滞留時間の分布(通常時)】



【滞留時間の分布(社会実験時)】



※通常時の各場所の滞留時間と徒歩移動時間の合計値を100として指標化

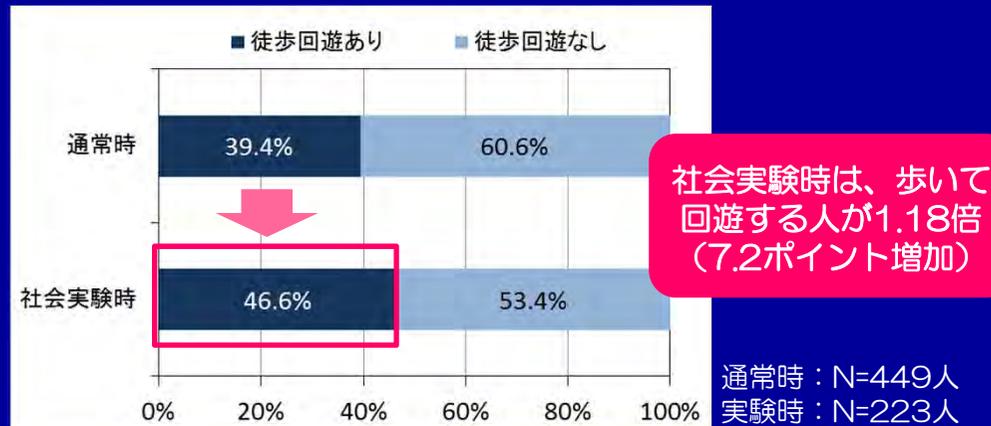
※100mメッシュ単位で集計した滞留時間を全滞留時間で割って基準化した上で図化

5. 調査結果

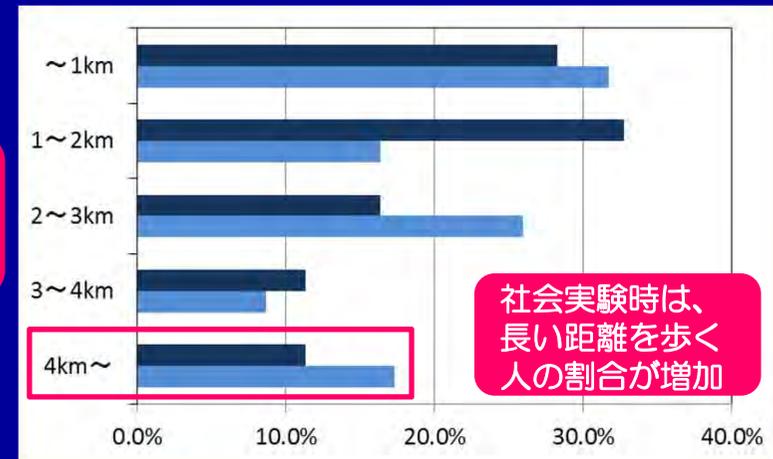
■ 徒歩による立ち寄り箇所の広がり

- 社会実験時には中心市街地を徒歩で回遊する人が増加し、回遊距離も増加
- 「岡山駅前エリア」と「表町エリア」の結びつきが強化

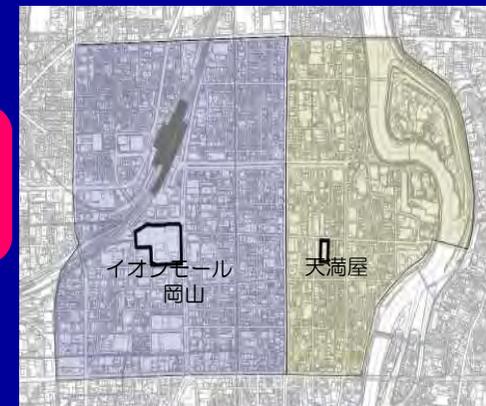
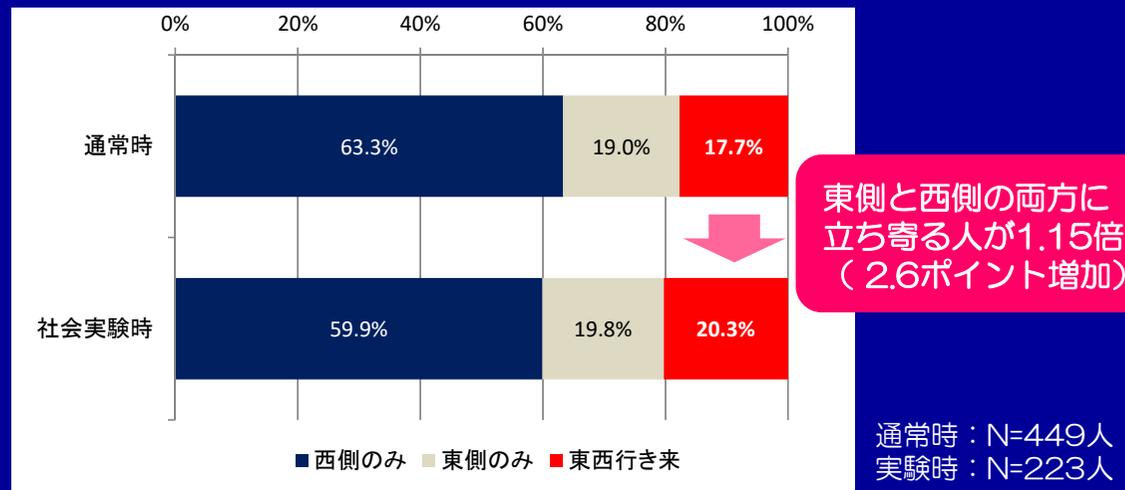
【中心市街地を徒歩で回遊した人の割合】



【徒歩で回遊した距離】



【中心市街地の徒歩での東西立寄りパターンの変化】



※中心市街地の東西は柳川筋を基準に分割